

車の上座は？

お客様や上司とタクシーや社用車、自家用車に乗る場合、上座はどこだろう、自分はどこに座るべきだろうと迷うことがありますね。そんな時の為の、基本マナーを紹介します。

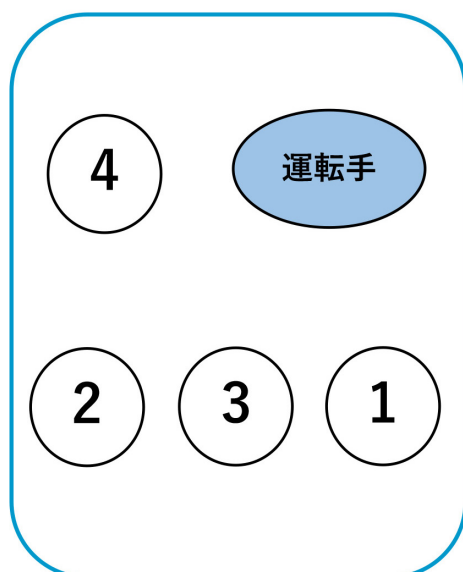
(1) タクシーや運転手つきの車に乗る場合

席次は以下の順番になります。

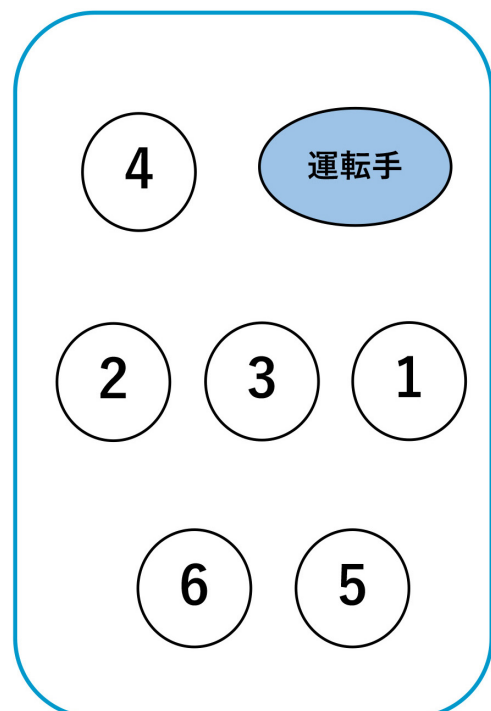
1. 運転手の後ろ
2. 助手席の後ろ
3. 後部座席の中央
4. 助手席

目上の方から順に上の席次で乗り込んでいただきます。ただし、ご年配の方や身体が不自由な方、着物を着ている方などに、運転手の後ろの席に座っていただくのが負担になる場合もありますので、事前に声をかけてご希望をお聞きしながら乗り降りのしやすい助手席の後ろや助手席に座っていただくという配慮も必要です。また、女性がおられる場合、後部座席の中央席は足元が盛り上がっているため座りにくいので、窓側や助手席に交代する等の配慮もしましょう。

タクシーや運転手つきの車に乗る場合



運転手つきの車に乗る場合
(ワゴン車)



(2) 社員同士が乗車し運転する社用車、 お客様が運転される車に乗る場合

席次は以下の順番になります。

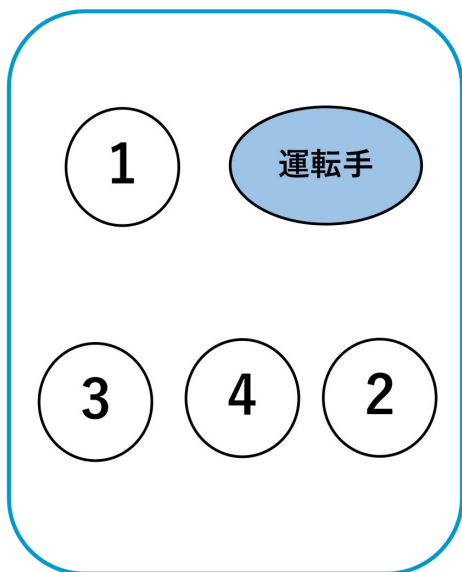
1. 助手席
2. 運転手の後ろ
3. 助手席の後ろ
4. 後部座席の中央

この場合は、助手席が一番上座になります。ただし、3人で社用車に乗る場合、後部座席の方が一人でゆったりと座れますので、目上の方に意向をお聞きしてみましょう。

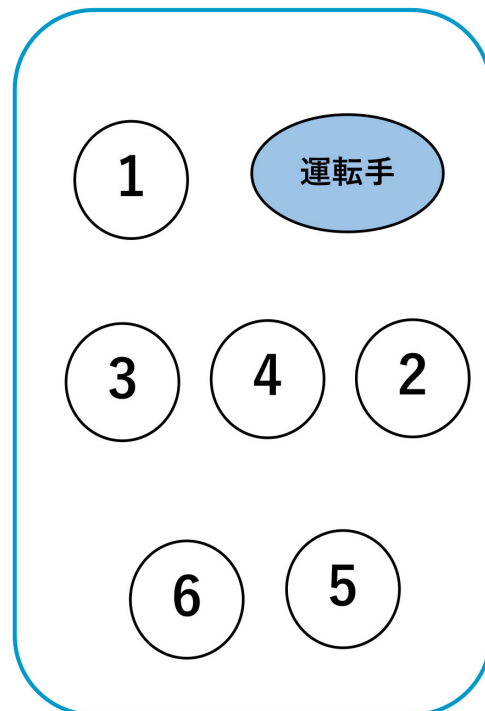
また(1)に記載の配慮もしましょう。

ワゴン車の場合、3列目が末席になりますので、「お先に失礼します」と言って、先に乗車させていただき3列目に座りましょう。

社用車・自家用車を
同乗の人が運転する場合



社用車・自家用車を
同乗の人が運転する場合
(ワゴン車)



車の席次でも目上の方に上座に座っていただくことが基本ですが、その時々状況や同乗者の身体の状態や服装などに配慮して、臨機応変に対応してください。

車で移動をする場合、エアコンの温度や風向き、シートの位置、車酔いなどにも配慮をすることで、同乗の方も安心していただけ、気遣いの出来る人だなとあなたへの評価につながるかもしれません。

